

平成 2 1 年度 実施事業	事務事業名 健康診査事業
-------------------	---------------------

区分	番号	名 称
章	1	やさしさと共生するまち
節	2	市民一人ひとりが生涯を通じて健康に暮らせるまちをつくる
施策	2	保健予防活動の充実
小分類	1	成人及び老人保健の充実
主要な施策	1	各種検診の充実と受診率の向上
事務事業番号	009	事務事業コード 12211009 事業開始年度 昭和 5 7 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	健康診査事業
------	------	------------	--------

部 名	保健福祉部	グループ名	健康推進 G
-----	-------	-------	--------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

対象	(何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください) 40歳以上の市民(ただし、子宮がん検診のみ20歳以上の女性)
手段 (事業の内容・活動)	(目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください) 各種がん検診(胃がん・大腸がん・肺がん・子宮がん・乳がん・前立腺がん)、肝炎ウイルス検査、歯周疾患検診を実施する。ただし、子宮がん検診・乳がん検診は2年に1回実施。
目指す姿 (成果)	(事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください) 糖尿病・高血圧・心臓病・がんの生活習慣病は日ごろから生活習慣の改善とともに、健康診査を受診し健康管理を行う。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください) 健康増進法

指標の推移

区 分		単位	区分	21年度 実績	22年度 目標	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標
成果 指標	大腸がん検診受診者数	人	目標値	1,390	1,590	1,550	1,550	1,550
			実績値	1,605	/	/	/	/
	肺がん検診受診者数	人	目標値	2,490	2,700	2,295	2,295	2,295
			実績値	2,973	/	/	/	/

事業費の推移

区 分		単 位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業の 財源 内訳	国庫支出金 名称 女性特有のがん検診推進事業費補助金	千円	10,972	14,394	4,674			4,674
	道支出金 名称 健康増進事業補助金	千円	450	470	683	683	683	2,049
	地方債 名称	千円						0
	その他 名称 健康診査受診者負担金	千円	6,560	6,723	7,912	7,912	7,912	23,736
	一般財源 名称	千円	21,211	14,311	28,291	32,965	32,965	94,221
合 計			39,193	35,898	41,560	41,560	41,560	124,680
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費		職 員	千円	2,002	2,097			
		嘱 託 員	千円	0	0			
		臨時職員	千円	284	286			
		合 計		2,286	2,383			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？
健康増進法で市が取り組むべき事業として位置づけられている。			
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？
検診により、毎年がんが発見され、早期治療につながっている。			
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのように向上させますか？向上させることができない理由は何ですか？
健康通信により各種がん検診の周知をはかり受診率の向上及びがん予防のため生活習慣の改善・がんに対する知識普及を推進することで、がん予防と早期発見に努める。			
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？削減できない理由は何ですか？
診療報酬をもとに委託単価を設定しているため、削減は難しい。			

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	登別市の死因の第一位はがんで、加齢により発生リスクが高まります。早期発見することによる早期治療が有効なことから、検診の継続実施が必要となります。平成21年度から国の補助により、節目年齢に達した方を対象に女性特有のがん（子宮・乳がん）健診推進事業として無料健診を実施し受診促進することとする。
----	----------------------	---

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
----	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）